

STAGE+を楽しむ(102)(HP 収載)

—モンテヴェルディ合唱団—

1. 始めに

前報(101)に引き続き、STAGE+のモンテヴェルディ合唱団の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、モンテヴェルディ合唱団の演奏を選びました。

モンテヴェルディ晩年の地、ヴェネツィアでのコンサート
フラーリ教会

収録日: 2023年6月22日

ジョン・エリオット・ガーディナーが設立した古楽演奏のスペシャリスト集団であるモンテヴェルディ合唱団が、モンテヴェルディへの敬意を表するためヴェネツィアを訪れ演奏した模様が収められています。同地はモンテヴェルディが晩年を過ごしたところであり、合唱団はモンテヴェルディが埋葬されているフラーリ教会で演奏を行います。ティツィアーノ、ドナテロ、ベリーニの傑作が展示されている会場で、モンテヴェルディの「セルヴァ・モラーレ」や「4声のためのミサ曲」といった宗教曲が美しく響き渡ります。

演奏:

イングリッシュ・バロック・ソロイスト、モンテヴェルディ合唱団

指揮:

ジョン・エリオット・ガーディナー

曲目:

クラウディオ・モンテヴェルディ	《主は言われた》第2番 SV 264
クラウディオ・モンテヴェルディ	《主を恐れるものは幸いなり》SV 268
クラウディオ・モンテヴェルディ	《主が家を建てたまわずば》第2番 SV 201
クラウディオ・モンテヴェルディ	《聖母マリアの嘆き》SV 288
クラウディオ・モンテヴェルディ	《おお、盲いた人よ》SV 252
クラウディオ・モンテヴェルディ	4声のミサ曲 SV 19



3. 試聴の経過

モンテヴェルディ晩年の地ヴェネツィアの由緒ありそうな荘厳な雰囲気教会でのコンサートです。

曲はすべてモンテヴェルディの宗教曲です。

合唱はモンテヴェルディの名をとったモンテヴェルディ合唱団で、ガーディナー指揮のイングリッシュ・バロック・ソロイストと息の合った演奏です。

教会のコンサートということで、残響が長く尾をひき、合唱も古楽器の音の柔らかかく響きます。アーチリュートやヴィオラ・ダ・ガンバやバロックハープの音も明瞭ですし、演奏の機会の多い《聖母マリアの嘆き》のソリストの声も優しく響きます。





4. まとめ

LAN アクセラレイザーの効果により、教会での演奏の雰囲気がよく再現できていました。

以上